

事業名	佐野市に関する美術作品等調査研究事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1．基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課		佐野市に関する美術作品等		款	10	新規or継続	継続事業	
	係	吉澤記念美術館		調査研究事業		項	4	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	231	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	7	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H14	実施方法	直営	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり				終了年度		事業分類	その他市民に対する事業
	施策	1	文化芸術活動の推進							
				博物館法 佐野市立美術館条例						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	佐野市に関する美術作品等研究に関する経費
------	----------------------

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	佐野市関連の美術作品及び収蔵品に関する情報収集により、各作品の芸術的・歴史的意義を明らかにする。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		展覧会で新しい情報を提示できた作品数	点	50	50	50	50	50
		解説パンフレットや図録などの発行回数	回	2	2	2	2	2

（3）目標値

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	収蔵品・借用品の調査及び整理 佐野市関連作品の所蔵家訪問調査・各種問合せ対応 関連資料の収集・調査	活動指標	単位	R3	R4	R5
		研究用図書購入・文献複写資料収集件数	件	230	230	272
		実地調査回数	回	40	40	11
		事業費計	千円	255	28	39
		一般財源	千円	255	28	39
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	各種資料の収集や、美術館所蔵作品及び佐野市ゆかりの美術作品等の調査研究を行い、その研究成果を、展覧会展示に活用した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		展覧会で新しい情報を提示できた作品数	点	50	40	178	値が大きいほど良い	効果が上がった
		解説パンフレットや図録などの発行回数	回	3	1	0	値が大きいほど良い	効果が下がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	1指標				
		指標全体	効果は変わらない	費用	費用は下がった	
					費用の増減無し	
					費用が増加した	

4．次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

美術作品を収集してきた方が高齢になり、作品の調査依頼が増えてきているが、ほかの業務もあり、調査研究にかける時間を今以上に確保することが課題である。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	限られた予算と人で事業を実施しており、現状を維持する。

事業名	佐野市郷土芸能保存会連絡協議会支援事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	文化推進課		佐野市郷土芸能保存会連絡		款	2	新規or継続	継続事業	
	係	文化推進係		協議会支援事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	231	名称	根拠法令、条例等	事業期間	目	17	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H2	実施方法	一部委託	
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり				終了年度	—	事業分類	支援事業
	施策	1	文化芸術活動の推進							

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	伝統文化の保存・継承を図るため、加盟団体の行う後継者育成を支援するとともに、郷土芸能に対する市民の認知を高めるため、フェスティバルの開催や学校への訪問講座といった活動の支援を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	協議会の円滑な運営及び財政の健全化を図り、郷土芸能の保存・継承活動を継続的に行えるよう支援する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		事業(フェスティバル、学校訪問)の延べ来場者数、参加者数	人	10,500	500	500	500	550

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	総会1回、理事会2回の開催 第34回郷土芸能フェスティバルの開催（令和6年1月14日） 学校訪問事業2回の実施 ・犬伏東小学校（鍛塚宮比講神楽保存会） ・葛生義務教育学校（越名舟唄保存会）	活動指標	単位	R3	R4	R5
		協議会加入団体会員数	人	202	199	184
		協議会加入団体数	団体	12	11	11
		伝統文化の発表の場への参加団体数	団体	—	3	5
		事業費計	千円	480	600	600
		一般財源	千円	480	513	600
		特定財源（国・県・他）	千円		87	
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	郷土芸能フェスティバルでは、5団体が出演し延べ600名程度の集客を得ることが出来た。また、学校訪問事業では、令和5年度も各郷土芸能にゆかりのある学校から募集がみられ、認知及び定着がなされてきていると言える。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		事業(フェスティバル、学校訪問)の延べ来場者数、参加者数	人	—	450	600	値が大きいほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断	効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標				
	効果が下がった指標数	0指標				
	指標全体	効果が上がった				
費用	費用は下がった		○			
	費用の増減無し					
	費用が増加した					

4. 次年度に向けた検討

（1）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

財政面を考慮した円滑な運営に課題が残った。また、どの加盟団体も後継者確保が難しい状況となっており、新たな人材につなげるための認知度向上に向けて、フェスティバルでの広報等に工夫を講じる必要がある。

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度を取組

取組説明	
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	フェスティバル時のポスターデザインやカラーリングの検討、またはキャラクターの活用といったようなこれまで行わなかった広報の方法を検討する。

仕事の振り返りシート（令和5年度実施分）

作成・更新日 令和6年6月28日

事業名	天明鑄物のまちづくり推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	3-⑤	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs 該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

1. 基本情報

担当組織	部	産業文化スポーツ部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	文化推進課		天明鑄物のまちづくり推進事業		款	2	新規or継続	継続事業
	係	天明鑄物まちづくり係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2312	名称	根拠法令、条例等		目	17	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり	佐野市地域おこし協力隊設置要綱、天明鑄物活用促進	事業期間	開始年度	R2	実施方法	一部委託
	政策	3	歴史・文化を守り育てるまちづくり	等補助金交付要領等		終了年度		事業分類	イベント等開催事業
	施策	1	文化芸術活動の推進						

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

(1) 事業概要

事業概要	天明鑄物のまちづくり推進計画が掲げる目標を実践する取組を市内外の人々に向けて行うことで、天明鑄物の認知度向上と天明鑄物をととした交流人口の増加を目指す。その一環として、地域団体商標を活かし、天明鑄物の製品を広くPRするために、天明鑄物振興協議会や地域おこし協力隊と連携し、各種PRを実施する。
------	--

(2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	天明鑄物の認知度向上と天明鑄物をととした交流人口の増加を目指すため、各種PR事業を実施する。天明鑄物に関する興味関心を深め、購入し、所有することで製品の素晴らしさに気づく。天明鑄物を介して、本市の良さに気づき、繰返し訪れてもらう。
-------------------------	---

(3) 目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
天明鑄物を知っている割合	%	69.3	72.5	72.9	76.5	77.0

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

(1) 活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	○地域おこし協力隊募集及び採用 ○田村耕一作品と天明鑄物の連携 田村耕一と天明鑄物 ふるさとの銘品に出合う会～WITH高校茶道部～開催 ○G7 栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合における「天明鑄物」を活用した情報発信 ○東京ビッグサイトにおいて日本商工会議所主催「f e e l N I P P O N 春2024」ブースにて「天明鑄物」出展 ○天明鑄物パンフレット「天明鑄物～令しの和の美～」作成 ○佐野商工会議所「まちの学校」で天明鑄物関係のワークショップ開催
--------------------------	---

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
メディアでの掲載回数	件	19	41	57
事業費計	千円	3,635	548	1,766
一般財源	千円	3,627	548	1,766
特定財源（国・県・他）	千円	8		
（うち受益者負担）	千円			

(3) 活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	各種PR事業実施や生産用具の国重文指定などにより、メディアでの掲載回数が増加した。
------------------	---

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
天明鑄物を知っている割合	%	69.3	72.5	72.9	値が大きいほど良い	効果が上がった

↓選択して下さい

(5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用が増加した
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	0指標
	効果が下がった指標数	0指標
	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

効果			
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
費用は下がった			
費用の増減無し			
費用が増加した	○		

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

コロナ禍が明け事業実施が可能になったため、R4と比較しR5の事業費が増加している。また、R6.3月から地域おこし協力隊を任用したため、その費用分も増加している。今後も天明鑄物の活用に関し、組織横断的に取り組む。また商工会議所など関係機関と連携し、商品開発や販路開拓の取組と、文化財課との連携による歴史文化面からのPRを行う。
--

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☐ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☒ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り） 天明鑄物の活用に関し、組織横断的に取り組む。また商工会議所など関係機関と連携し、商品開発や販路開拓の取組と、文化財課との連携による歴史文化面からのPRを行う。